

令和元年度 学校評価報告書

1 本年度の重点目標 (下線部は今年の変更点)

- (1)開かれた学校づくりと特色ある学校づくりの推進と広報活動の充実
- (2)主体的・対話的で深い学びにつながる授業力の向上と基礎学力の定着
- (3)基本的な生活習慣やマナーの定着指導と活気ある学校づくりの推進
- (4)希望進路100%達成に向けた組織的な取組
- (5)清掃指導の徹底と心身の健康管理の推進
- (6)4系列の特長ある教育活動の推進と地域連携の充実
- (7)2020年創立100周年記念事業に向けての準備加速

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

A 達成している B おおよそ達成している C あまり達成していない D 達成していない

評価分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		自己評価結果	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学習指導	① 基礎学力の向上	B	基礎力学習を継続して行ってきたが、クラス間で取り組みに差があった。定期考査の結果を見ると基礎学力が身につけていない生徒も多く対策を講じたい。	B	B
	② 授業力の向上	A	全ての教科で研究授業を行うことができた。授業を見合うことで、自分の授業を見直し、課題を発見することができた。今後はICTのさらなる活用を含めて授業研究を推進したい。	A	A
	③ 「総合学科」教育の推進と充実	A	4系列の特徴を生かした授業に取り組んでおり、各種大会や産業教育フェアで発表をすることができた。今後も継続・発展できるように努めたい。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生レベルの基礎学力の身に付いていない生徒も見られるので、学力の底上げが必要なのは、4系列それぞれの活躍はすばらしい。更なる向上を望む。 ・生徒一人ひとりの学力に合わせた指導で総合学科の特色を活かしてほしいと思う。 				
生徒指導	① 挨拶・身だしなみの徹底	B	挨拶は定着したが、さらにしっかりとできる生徒が増える様に声かけを積極的に行う。著しい服装の乱れはないが、服装規定を守れない生徒が常態化した。教員の指導に差が見られるので共通認識での指導の徹底を行う。	B	B
	② 安心・安全な学校づくり	B	中抜けをなくす生徒指導体制が構築できた。授業中の教員に対する暴言など発生したが、指導により改善が見られた。今後もしっかりした対応を心がけたい。	B	A
	③ 活気のある学校づくり	B	体育祭や伊具高祭などの校内行事は、生徒が積極的に活動する体制が整えられた。部活動活性化について具体的な対策をまとめ学校全体で早急に取り組む。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校の生徒の有無について報告してほしい。 ・女子の化粧、ピアスはルール違反だが、ちよちよみられる。 ・校内行事への取り組みは良好だが、部活動の活性化が必要なのは。 				
進路指導	① 教科・年次・担任との連携によるきめ細かい進路指導	B	3年次においては進路部・3年次の合同会議で、他年次でも年次会等を利用して、生徒の進路希望を把握し、進路行事等を有効に活用した指導ができるように取り組みを強化していきたい。	A	A
	② 進路行事の充実	A	進路行事の実施後の進路室利用が増え、行事実施の成果が表れた。今後も行事の目的をはっきりさせ、生徒の進路意識を高揚させ、進路実現に向けた取り組みを主体的に行えるよう指導していきたい。	A	A
	③ 保護者への適時・的確な進路情報の提供	C	水害の影響もあったが予定通りの発行ができず、ホームページにアップができなかった。次年度については計画的な発行を心掛け、内容についても検討を加え実現を目指したい。	B	A
学校関係者評価委員会における意見	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の進路の定着率について知りたい。 ・学校側の進路指導はきめ細やかで熱心であるが、保護者側がもっと関心を持って、学校任せにせず進路行事に積極的に参加してほしい。 				

4系列の特長ある教育活動	① 農学系列の教育活動の推進	A	苗販売や地域の植栽等、行事の運営、実施に生徒が関わる場が多く作れた。学習を進めていく中で専門分野である農業と食品製造に関心を持ち、進路決定に結びつけた生徒が増えた。	A	A
	② 機械系列の教育活動の推進	A	ものコンや溶接大会など多くの外部の大会や報告会に参加することができた。また、資格の合格者数も増加しており、生徒の学習意欲の向上が見られた。今後も生徒が達成感を感じられるよう、資格や外部大会に積極的に取り組ませたい。	A	A
	② 情報(商業)系列の教育活動の推進	B	今年度は地域イベント参加に力を入れ、特に3年次の課題学習において年間を通して、地域における役割を探求することができた。次年度も地域の協力を得ながら有意な社会人を育成できるよう取り組みを強化していきたい。	A	A
	③ 福祉系列の教育活動の推進	A	外部講師による介護体験学習、家庭クラブの県大会出場、食物調理技術検定や保育技術検定、介護職員初任者研修など多くの生徒が積極的に活動することができた。今後も活躍出来る場を継続させたい。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	<ul style="list-style-type: none"> ・4系列全てにおいて校内のみならず、校外へ向けての活発な活動や資格取得、実習体験等将来へ向けての学習も盛んになっている。 ・学校通信、新聞報道などからも各系列それぞれの特長ある教育活動の成果が感じられた。 				
地域学校づくり	① 地域への学校情報発信の充実	A	ホームページやツイッターを利用しながら、本校生徒の活躍を情報発信した。また、学校通信を毎月発行し、丸森町内、角田市内全戸回覧し、伊具高校の活動内容を広めた。	A	A
	② 地域と連携した教育活動の推進	A	各系列の地域活動やまちづくりゼミを通して地域を考えたり、地域貢献ができた。台風19号の被害を受け、地域のあるべき姿を考えることができた。	A	A
	③ PTA活動の充実と同窓会との連携	B	PTAと協力し、様々な活動ができた。しかし、朝の一声運動への参加が足りなかったので今後対策を検討したい。また、100周年記念事業の成功に向けて同窓会の方々と連携を図りたい。	B	A
学校関係者評価委員会における意見	<ul style="list-style-type: none"> ・台風19号の後、地域の中での伊具高校の立ち位置を改めて考えさせられた。PTA活動でもっともっと参加人数を増やし、100周年に向けて充実させたい。 ・台風19号被害のボランティア活動は十分に地域と連携した活動であったと思う。 				

3 次年度の課題と改善方策

次年度の課題	改善方策
① 部活動の活性化	運動部員の減少等によって運動部の活動が少なくなっている。運動部及び文化部の兼任を認めながら活性化を図りたい。
② 創立100周年記念事業の成功	記念事業の成功に向けて、PTAや同窓会と協力・連携を図りながら、綿密な計画に基づいて役割を果たす。
③ いじめ防止の徹底	いじめ防止のために、日頃から生徒の様子をしっかりと観察しながら良好な学校生活を送れるように指導を行っていく。いじめが発生した場合は、関係者として連携を取りながら迅速な対応を行っていききたい。